月２回発行　2017年5月1日・毎月1・15日発行　昭和29年10月12日第３種郵便物認可　通巻2281号

安全・衛生・教育・保険の総合実務誌

安全スタッフ

特集Ⅰ

みんなで作った「安全カルタ」

作業中の注意点を伝達

キリンビール取手工場

特集Ⅱ

経営層が労災防止へ積極化

製造業安全対策シンポジウム

ニュース

高齢者の安全対策で事例集

中災防　先進企業10社示す

WEB版はカラーでご覧になれます!!
WEB登録（無料）のお問い合わせは
0120-972-825
メルマガも配信中です！

No.2281
2017
5/1

社労士が教える 労災認定の境界線

第242回

検査の介添え中に看護師が貧血で倒れる

＜執筆＞
一般社団法人SRアップ21　福岡会
内野労務管理事務所
所長　内野　俊洋

■ 災害のあらまし ■

T病院の看護師Hは、皮膚泌尿器科の外来診察室にて、患者の膀胱鏡検査の介添中、突然脳貧血様症状を起こして後方に転倒し、鉄製の上肢手術台で後頭部を打ち負傷してしまった。

看護師Hは、6年5カ月の経験を有しており、「患者が悪臭を放ったために貧血を起こしてしまった」と言っているが、医師や同僚の看護師などはその程度の臭いでは普通の場合倒れることはなく、また他に患者の異状な出血などのショックを受ける原因となるようなものもなかったという。

■ 判断 ■

看護師Hの負傷は、貧血という私病が直接の原因による事故ではあったが、その負傷事故に事業所の施設（鉄製の手術台）が介在しているとして、**業務上**の災害であると判断された。

■ 解説 ■

労働者災害保険法に保険給付の対象となる業務災害とは、「業務を行っていたことにより被った災害により負傷や疾病に罹り、または死亡したりすること」（業務の起因性）が必要となる。

業務の起因性の有無と同時に、労働者が被災したとき、事業主の支配下にあったか否か（業務の遂行性）が問われることになる。

労働者が災害に遭ったとき、業務の遂行性が認められ、かつ業務の起因性を否定する事由「反証」が認められないときはその災害は業務上災害と認められる。

言い換えれば、業務遂行性が認められる場合であってもその災害に業務の起因性を

否定する事由「反証」が認められれば業務上災害とならない。

業務起因性を否定する事由としては下記の①～⑤がある。

①業務離脱行為

②業務逸脱行為

③恣意的・私的行為

④天災などの自然現象

⑤局外的な事象など（通常ではありえないできごと。戦争など）

ただし、これらの業務起因性を否定する事由「反証」があったとしても、業務の起因性を肯定する事由が業務行為、あるいは事業所施設の欠陥などと共働して災害が発生した場合などでは業務上の災害として認められる場合もある。

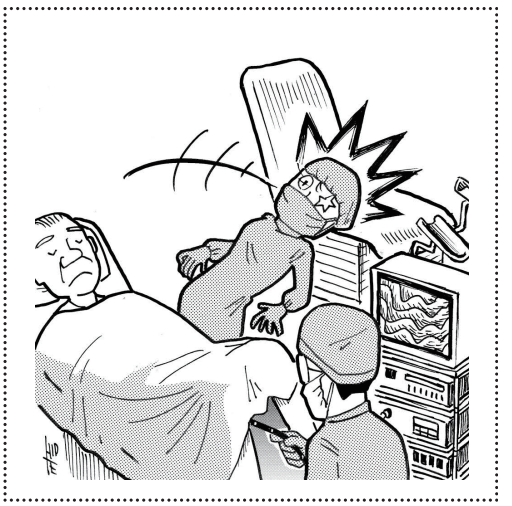
たとえば事業場が自然災害の影響を受けやすい場所にあり、業務遂行中に被災した場合などは、一時的な原因が自然災害であったとしても業務上災害として認められたことや、休憩時間に事業場構内を通行中通路の不安全による転落事故が、または業務を中断し会社のトイレに行き誤って指を挟み負傷したなどが業務災害と認められていたことなどである。

それでは、今回の事例について考えてみよう。

被災者Hは業務中に貧血を起こし、それが原因で後頭部を負傷してしまった。業務中であったことから業務の遂行性については全く問題ない。では業務の起因性にいてはどうだろう。

Hは「患者の悪臭」を貧血の原因だと主張しているが、医師や同僚の看護師はそのことを否定している。また出血などのショックを受ける原因となるものもなかったと証言している。

そうであるならば、H氏の脳貧血は業務



とは関係のない私病であり業務の起因性は否定されるように思われる。

事故の原因が私病であり、一般的経験則からも作業環境・条件に重大な瑕疵があるとはいえず、脳貧血が本人の私病であるのなら、それが自宅で発生した場合でも負傷する可能性は多分にあるのだから、業務外の災害となるのではないか。

しかし一方では、負傷事故の間接的原因である脳貧血様症状は私病であるが、業務遂行中、その作業環境・条件により特に業務に危険が伴うものであるとはいえない場合でも、その負傷事故に事業所の施設が介在している以上業務上の災害であるとも考えられる。

この事案を担当した労働基準監督署では、業務上外の認定についていずれの説を取るべきかで見解が分かれ、最終判断は労働省（当時）労働基準局労災補償部に判断を委ねられた。

その結果、この事案の業務上外の認定は、事業所の施設が介在して負傷した事故であるとして、労働省労働基準局労災補償部長より業務上災害とするよう通達された（昭41・10・3基災収第86号）。

◇SRアップ21：www.srup21.or.jp